



# 普通科通信

H24年  
2月号



今年のフロンティア事業のテーマは「福高スクラムⅡ」周囲の皆様の協力を得てさらに前進します。

## 「確かな学力」をつける取組を積極的に進めています！

～ 福高普通科 本年度1年間の取組の足跡 ～

中学3年生の皆さんは、現在、志望校合格に向けて受験勉強に忙しい毎日だと思います。そして、2年生の皆さんは、1年後の希望進路実現に向け、準備を始めようとしていることと思います。今後の1年間の中で、自分自身の将来をしっかりと見つめ、現在の力で志望校を決めるのではなく、目的や目標を持って、自分の学びたい内容、学びたい環境、やってみたい部活動などをじっくりと考え、自分自身が納得のできる志望校の決定ができるよう、情報発信を行い支援していきたいと考えています。



京都大学にて卒業生(現役京大生)と交流  
平成23年度 宿泊研修

本校普通科では、京都府教育委員会から『学力向上フロンティア校』として4年連続で事業の指定を受け、生徒一人一人の学力向上に向けて様々な取組を展開しています。本年度取り組んできた内容について、その一部を御紹介します。

- みらいウィーク（「夢を持って生きることの意義」についての講演、着こなし講座など）
- 職業・学部適性検査（自分の適性を客観的に見つめます。）
- 学びの木（学習方法や学習内容に関する自己管理ノートを作成します。）
- 日々の演習（毎日、各教科から家庭学習課題が出されます。）
- 小論文講演会と小論文模試（自己表現力や読解力を高めます。）
- みらい考（一人一人がテーマを決めて調査活動やレポート発表を行い、幅広い学力を育てます。）
- 宿泊研修（大学・職場見学、卒業生との交流を通して知見を広げます。）
- 福高作文（年間の様々な行事の中で、感想文やお礼文を書き、自己表現力を高めます。）
- 新聞活用セミナー（天声人語の書き写し、朝日新聞社の方の講演などを通して、社会的背景を深く見抜く読解力や表現力を育てます。）
- インターンシッププログラム（福知山市内の病院を始め、様々な職場で見学や実習をさせていただきます。下のインターンシップの写真は福知山市民病院での学習の様子）



大学模擬授業



インターンシッププログラム



みらい考交流会



新聞活用セミナー

1月26日には、昨年度から始めた取組として普通科の生徒を対象とした調査活動『みらい考』の発表会を行いました。80余りのテーマから生徒が調べたい内容について書籍やインターネットなどを活用して調査しました。また単に調べるだけではなく、夏休みには博物館へ出かけたり、アンケートや街頭調査を行ったり、実験を行ったりするなど独自の調査を行い、その結果や考察をレポートにまとめました。

発表者とテーマは以下のとおりです。

- ・山口真由子さん（Ⅰ類・伊根町立伊根中学校出身）  
テーマ『四神と風水』
- ・山下大輝くん（Ⅱ類・綾部市立豊里中学校出身）  
テーマ『迷信は本当か』
- ・志賀史岳くん（Ⅱ類・福知山市立成和中学校出身）  
テーマ『効果的な筋力トレーニング  
～細マッチョになろう～』
- ・上治美弥さん（Ⅱ類・福知山市立六人部中学校出身）  
テーマ『睡眠生物学～効率のよい睡眠のとり方～』
- ・上入佐千晶さん（Ⅰ類・福知山市立六人部中学校出身）  
テーマ『カメラと写真』



## 取組紹介 みらいの窓

福高作文 ～みらい考まとめ発表会～

### 1年1組 山口 真由子さん（伊根町立伊根中学校出身）



私は、みらい考の取組を振り返り、自分が納得するまで徹底的に調べることができたことがとても楽しかったし、自分の視野を広げることができました。他の発表者のプレゼンテーションを聞いて、人を引きつけるような話し方や心をつかむ表現が今の私に足りないものだと思います。自分の意見や意志、興味に対していかに他人を巻き込み共感させるか、それがみらい考に取り組んだ中で大切だと感じました。人の心を引き出し、引きつけることは簡単なことではありませんが、そこに挑戦できたことはとても嬉しく思っています。みらい考は、自分の「知りたい」や「(実際に)見てみたい」という興味を満足させてくれる福高の特徴的な取組だと思います。

### 1年5組 内海 佑弥くん（福知山市立大江中学校出身）

みらい考を通して、自分で調べるテーマを決め、資料を集め、まとめ、プレゼンテーションを行うという経験ができ、良い勉強になりました。みらい考では自分で1から作り上げることが求められますが、特に苦労したことは、調べた資料を簡潔に、分かりやすくまとめることでした。文献、インターネット、テレビ、現地での情報、アンケートなど多種多様な媒体から調査し、分かったことを1つの紙に表現することはとても難しく、何度もまとめ直すなくてはなりませんでしたが、できた資料も完璧とは言えませんでした。みらい考では限られた時間の中で活動することの難しさを知りました。今日の発表は皆、自分たちで調べたこと、体験したことを上手にまとめていて、とても分かりやすかったです。調べようと思った理由、考察などの自分で考える部分にしっかりとした思い、根拠があり、聞き手によく伝わりました。今回自分がみらい考で学んだことや反省点を生かし、来年は納得のいくプレゼンテーションができるよう心掛けていこうと思いました。



FM キャッスルでみらい考の取組が放送されました。

(スタジオでのインタビュー)